

その他

技術講習

耐震技術認定者講習会

木造住宅の安全・安心を支える
「耐震技術認定者」資格制度

木造住宅の耐震診断を行うには、正しい知識と技術・経験が欠かせない。日本木造住宅耐震補強事業者協同組合（木耐協）では、全国組合員の耐震診断知識の均一化と技術の向上を目的として、1998年に「耐震技術認定者」資格制度を設け、認定講習会を実施している。

2024年度は、eラーニング（4期）と対面（東京・大阪）で講習会を開催。現在全国で約1,300名の耐震技術認定者が活躍しており、安全・安心な住まいづくりを推進している。

■講習受講の利点

- ①「耐震」の提案により他社と差別化できる
- ②建築士会CPD制度の6単位が取得可能
- ③自社と地域の防災力向上に寄与

■講習会プログラム

- ・地震による木造住宅の主な倒壊要因
- ・偏心率算定の方法
- ・地盤のはなし
- ・不同沈下と相対沈下のはなし
- ・基礎のクラック
- ・瑕疵責任のはなし
- ・既存住宅現況検査のガイドライン
- ・宅建業法改正における既存住宅状況調査
- ・耐震診断の調査方法の流れとポイント解説
- ・上部構造評定の算出方法解説
- ・N値計算法解説

■受講資格

一級・二級・木造建築士、または木造建築工事業の実務経験が7年以上と会社が認めた者

■認定について

一般事業者も受講可能だが、「耐震技術認定者」になるには組合への加盟が必要

■木耐協ホームページでの情報提供例

①耐震技術認定者の検索

耐震技術認定者検索

お近くの耐震技術認定者をお探しいただけます。
都道府県を選択し、地図をタップしてください。
該当地域の耐震技術認定者候補を表示します。
また、会社名（ふりがな可）でも検索できます。

都道府県: すべて

会社名:

検索

全国の耐震技術認定者を検索可能。検索結果では認定者の写真、氏名、会社名等が確認できる。

②認定者インタビュー

認定者資格を取得して変わったことはありますか

耐震診断を行い、認定士の責任を負える事で、**真正に耐震するだけの診断士と認定者の違いが分かった**事で、お客様との信頼が深まっています。

診断・補強で大変だったこと

床下の調査で深いところを調査時に、腐っていたのがびっくりから腐蝕が深刻になったときは驚きました。腐や乾など様々な腐蝕などにもよく気づかれます。
耐震補強工事では、発見してきて想定と異なるケースもあり、腐蝕を原因に補強設計を修正しなから対応していただきます。

耐震技術認定者の、耐震診断時の心構えや気を付けていること等を、消費者とのエピソードを交えて紹介。

※受講に際しては指定書籍の購入が必要。

※更新は3年ごとで、認定者証の有効期限の1年前に開催する講習会から更新受講が可能



最新の情報については
左記二次元バーコード参照

問い合わせ先

日本木造住宅耐震補強事業者協同組合 TEL03-6261-2040 <https://www.mokutaiikyoo.com/>